

2025年度

安全マネジメントの結果報告および 輸送の安全に関する取組みの公表について

立川バス株式会社



■輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 取締役社長（以下「社長」という）は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たす。また、現場の安全に関する声に真摯に耳を傾け、現場の状況を十分に踏まえつつ、従業員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。
- (2) 当社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan・Do・Check・Action）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。
- (3) 当社は、運輸業の使命である無事故、安全輸送体制の強化、そしてお客さまの立場にたった、便利で親切なサービスを徹底していくために、企業理念と行動指針を制定している。

■企業理念・行動指針

【企業理念】

安全、安心を第一に、
便利で、親切なサービスでお客
さまと地域に貢献します



©立川バス/San-x

【行動指針】

1. コンプライアンスを徹底し、
誠実に行動します
2. 安全を何よりも優先します
3. お客さまの立場にたって、
サービスを提供します
4. 協力して、働きやすい職場
作りを進めます
5. 業務の改善により、業務の
向上に努めます

■輸送の安全に関する重点施策

- ① 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令および安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
- ② 輸送の安全に関する費用支出および投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
- ③ 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じること。
- ④ 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を共有し、確実かつ迅速に伝達すること。
- ⑤ 輸送の安全に関する教育および研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施すること。

■安全管理規程

別紙 1 安全管理規程

「輸送の安全にかかわる情報の伝達体制その他の組織体制」は安全管理規程別紙に記載

■ 2025年度輸送の安全に関する目標および発生件数

	重大事故	有責事故			累計
		人身事故	物損事故	合計	
目標件数	0 件	1 0 件以下	3 5 件以下	4 5 件以下	4 5 件以下
発生件数	2 件	1 8 件	3 2 件	5 0 件	5 2 件

■ 2025年度自動車事故報告規則第2条に規程する事故件数

人身事故	2 件
車両故障	8 件

■輸送の安全のために講じた教育

① 入社5年未満および15年～20年未満教育

外部講師による安全教育を実施し、事故要因の理解と再発防止の徹底を図るとともに、グループ討議を通じて安全意識の向上を促した。

（主な教育内容（一部））

- ・ 自社・他社で発生した事故を共有
- ・ 視野障害チェック
- ・ 盲点について
- ・ ヒヤリハット情報共有
- ・ グループワーク
- ・ KPT（運転の振り返り）

※「Keep（継続すべきこと）」「Problem（問題点）」
「Try（試してみたいこと）」の頭文字を取ったフレームワークで、活動の振り返りを通じてチームの成長を促進します。



② 65歳以上・貸切運転士教育

65歳以上および貸切の運転士に対して、NASVA（自動車事故対策機構）による外部講師研修を行いました。加齢に伴う認知・判断・操作の低下について、適齢診断の結果も踏まえ指導しました。併せて、当日はAED研修も行い救命措置の基本を学びました。

③ 事故惹起者教育

事故惹起者に対し再発防止教育を実施し、原因分析や映像による振り返りを通じて安全意識の向上を図った。さらに、他社バスへの添乗により運転技術や安全取組みを学び、安全水準の向上につなげている。

④ ドライブレコーダーを活用した小集団教育

輸送の安全確保と事故防止を目的に、全運転士を対象とした小集団教育を年間6回実施し、事故情報の共有や実車教育を通じて安全意識の向上と実践的な安全行動の定着を図っている。

⑤ ドライブレコーダー閲覧教育

自身の運転映像を基にした振り返り教育を実施し、危険要因や改善点を明確化することで安全意識の向上と行動改善を図った。また、若年運転士を中心に実施し、早期から安全運転の定着を推進している。



外部講師による座学



ドライブレコーダーを使用した検証

■輸送の安全のための継続的な取り組み

当社は、公共交通事業者としての社会的責任を重く受け止め、お客さまおよび地域の皆さまに「安全・安心な輸送サービス」を提供することを最優先課題として取り組んでおります。2025年度の事故発生状況を詳細に分析した結果、交差点事故、車内人身事故、接触事故といった主要な事故の多くが、特別な判断ミスや高度な運転技術の不足ではなく、「止まる」「見る」「確かめる」といった基本的な運転・確認動作が確実に実行されていなかったことに起因していることもあり、2026年度は、事故防止の取り組みを抜本的に見直し、「注意喚起」ととどまらず、行動の改善に取り組んで参ります。



① 背景要因の分析を行い、事故の再発防止を図る

事故の再発防止に向けて、事故発生当日に情報を関係者へ迅速に展開し、初動対応の徹底を図る。また、当該者本人に対して徹底的なヒアリングを行い、事実関係や背景要因を詳細に把握する。その上で、安全マネジメント委員会にて事案を多角的に議論し、組織としての課題と改善策を明確化する。さらに、これらの内容を小集団教育の場で共有し、全員への周知徹底を図ることで、安全意識の向上と同様事象の再発防止に努める。

② 「添乗査察」「街頭査察」での基本作業の確認

路線バスの安全運行および接客サービスの品質向上を目的とし、乗務員の業務遂行状況を客観的に確認・指導するものである。

「添乗査察確認事項」

- (1)安全運転の遵守（発進・停止・速度・車間距離）
- (2)法令および社内規程の遵守状況、車内アナウンスの適切性（内容・タイミング・明瞭さ）
- (3)乗降時の対応（高齢者・障がい者への配慮）

「街頭査察確認事項（交差点）」

- (1)交差点右左折時、一時停止の励行（歩行者信号が青の場合）
- (2)交差点右左折時、徐行通過の励行（歩行者信号が赤の場合）
- (3)イエローストップの遵守

③ 「交通事故ゼロの日」運動の実施

重大事故風化防止の継続的な取り組みとして、毎月「三日」には

- (1)ダッシュ板への掲示物を設置
 - (2)事故防止ワッペンの着用
 - (3)営業所へのぼり旗の設置
 - (4)営業所員の街頭・添乗査察
- 以上の取り組みを行っています。



主要交差点にて街頭査察

毎月三日は
**交通事故
ゼロの日**

三の日プレート

④ 「車内閉じ込め防止」運動の実施

通常、入庫前の最終バス停では運転士が降車されていないお客さまがいないか確認を行いますが、特に後部座席については気づきにくい傾向があり、運転士のヒューマンエラーにより閉じ込めたまま入庫してしまう危険があります。車内点検の重要性を認識させる機会として、夏季に行う夏季輸送安全総点検期間および、冬季に行う年末年始自動車輸送安全総点検期間に車内閉じ込め防止カードを点呼毎に運転士へ持たせ、確実な車内点検の実施を励行しています。

車内閉じ込め防止！

回送前と入庫時、車内点検実施！

夏季輸送安全総点検

7/21(金)～8/31(木)

車内閉じ込め防止！

回送前と入庫時、車内点検実施！

年末年始自動車輸送安全総点検

12/10(日)～1/10(水)

車内閉じ込め防止カード

⑤ 「車内閉じ込め防止」への取り組み

万が一お客さまを車内に閉じ込めてしまった場合、体調が急変し、命に関わる可能性があることから、車内閉じ込め防止として、終点到着後、回送に入る前に後方席まで移動し、車内確認を行い、「車内確認完了済」プレート指定した箇所に貼り付け、回送運行に入る取組みを行っています。



張り付けるプレート



取り付け画像

⑥ 「本社管理職が通勤時に基本動作を確認」

本社管理職が通勤時に、各種遵守事項（交差点一時停止、シートベルト着用、車内確認等）の実施状況を確認・記録し、指摘事項がある場合は現場管理者へ報告し、運転士へフィードバックを行う取組みを行っています。安全管理の徹底を図ることを目的としています。

【査察者：				該当する違反項目に○印										
日 付	時 間	発見場所	社 号	違 反 項 目										
				交差点右左折一時停止	シートベルト	車内喫煙	車内確認プレート	サングラス	髭					
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
2026 年 月 日	:		J F	有 無	装着 未装着	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無

※ 会社のメールで、安全統括管理者、安全対策部管理職全員、当該営業所管理職全員に対し違反内容を送信する。
※ メールを受信した営業所は、当該運転士に原則、当日中に教育を実施し、教育記録を作成し、安全統括管理者、安全対策部管理職全員、当該営業所管理職全員に対し、返信する。

⑦ 車内転倒事故防止注意喚起シールの車内床面への貼付

車内における人身事故、特に転倒事故の未然防止を目的として行っており、バス車内では、発進・停止時や走行中の揺れにより、立席乗客のバランスが崩れやすく、転倒事故が発生するリスクが高い他、高齢者や身体の不自由な乗客においては、わずかな揺れでも大きな事故につながる可能性があります。そのため、「転倒注意喚起シール」を設置しています。



車内転倒事故防止注意喚起シール

⑧ ドライバー異常時対応システム（EDSS）の導入（路線バス・高速バス）

ドライバーの異常事態時に、非常押しボタンにより車両を停止させるシステムが搭載されたバスを、2022年度より高速バスに導入し、その後路線バスへも引続き導入しております。

⑨ 感染症予防対策

インフルエンザ対策のため、感染予防（マスクの配布、うがい薬、アルコール手指消毒剤の設置等）の徹底や、従業員本人が感染した場合の対応策を随時更新し、従業員に周知徹底を行っています。また、従業員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応も、以下のとおり行っています。

- ・従業員に罹患者が発生した場合に、必要に応じて職場の消毒を速やかに実施する。

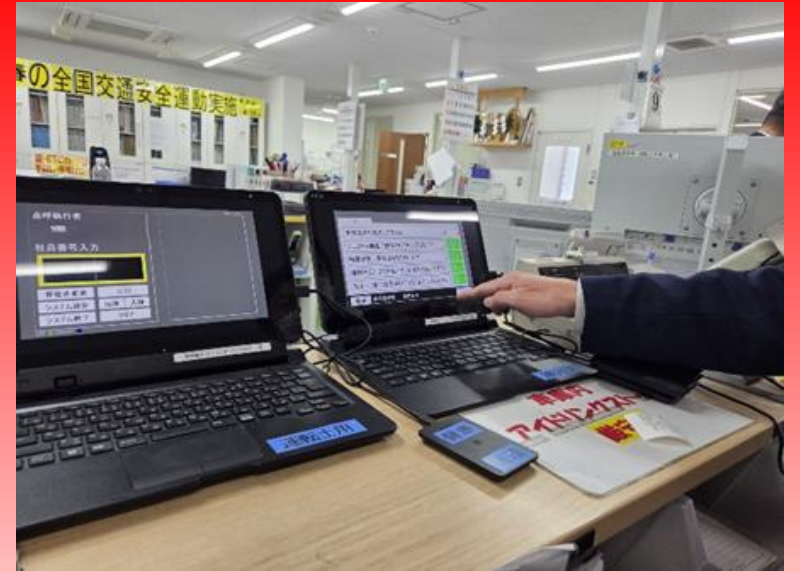
- ・従業員に罹患者が発生した場合に、早期の感染拡大防止対策をするため、抗原検査キット（体外診断用医薬品）を購入し、本社および各営業所に常備している。



非常押しボタン

⑩ I T点呼サポートシステムの導入

「I T点呼サポートシステム」を活用した点呼を2025年3月より開始しました。これは出庫・入庫時の点呼の際、運転士のアルコール検知の有無、健康状態、睡眠は十分とれているかなど、重要な確認業務をITを活用しサポートするものです。また点呼記録の電子保存化も自動的に行われ、業務のDX化も図っています。



出勤時に運転士が操作する健康管理入力タブレット

⑪ 安全マネジメント委員会の継続的な開催

安全管理規程に基づいた「安全マネジメント委員会」を原則1か月に一回開催し、安全重点施策の検討・策定、事故・災害等の対策の検討ならびに安全管理体制の強化を図っています。特に発生した事故の原因分析ならびに再発防止策の策定に重点を置き本社と営業所が一丸となって事故防止に努めております。

⑫ 安否確認サービスの活用

災害時等に従業員（家族も含む）の安否確認を迅速に行う必要があるため、2021年3月より安否確認サービスを導入いたしました。これは災害発生時に本人および家族の安否を確認するとともに、運行中の場合はお客さまの状況やバスの状況も同時に確認できるものです。

■ 2026年度輸送の安全のための取組み

- ① 事故が多発した場合、重大事故が発生した場合、
速やかに全社的な緊急対策を実施

事故が一定期間に集中した場合や、重大事故が発生した場合には、速やかに全社的な緊急対応を行います。対象となる路線、運転状況、時間帯などを分析し、必要に応じて一斉指導や臨時査察、運行方法の見直しを行います。個人に責任を帰するのではなく、組織として再発防止策を講じることを重視していきます。



着用ベスト（表）



着用ベスト（裏）

- ② 後部中央座席へ注意喚起シートの貼り付け

当社では、車内人身事故防止の取組みの一環として、後部座席中央の座席面に注意喚起シートを貼り付けました。車内人身事故の多くは、発車や減速時にお客さまの姿勢が不安定となり、身体の支えが十分に取れない状態で起こっています。そこで、お客さまが必ず視界に入れる「座席面」にシートを設置することで、お客さま一人ひとりが自身の安全を意識するきっかけを常に提供できるという特長があります。本取組みは、お客さまの行動を制限するものではなく、安全な姿勢を取るための「気づき」を促すことを目的としています。



後部座席中央注意喚起シート

■ 2025年度 安全対策に関する経費・投資

安全性の向上を図るための2025年度経費支出および投資は、次のとおりです。

新車導入台数（ドライバー非常時対応システム搭載）合計18台 ※内訳 （路線バス大型車10台・路線バス小型車5台・電気バス大型車1台・ 電気バス小型車2台）	計 560百万円
スタッドレスタイヤ	計 12百万円

2026年度導入計画予定

新車導入台数（ドライバー非常時対応システム搭載）合計19台
※内訳
（路線バス大型車11台・路線バス中型車2台・電気バス大型車3台・電気バス小型車2台・
高速バス大型車1台）

■輸送の安全に関する内部監査

安全統括管理者が自らまたは自らが指名する者を実施責任者として、運輸安全マネジメントの実施状況等を点検するため、輸送の安全に関する内部監査を実施しています。2023年度より新たに外部コンサルタントと業務提携し、客観的な視点で内部監査を実施しています。

2025年度 是正事項	改善策
① 安全重点施策の運営方法の見直し（目標と計画の整理・検証等）	重点施策の運営を整理し、進捗管理表を用いた運用手順としてまとめ、12月に重点施策の達成状況レビューを実施し、その結果を受けて取組計画を見直し、2027年度に反映する。
② 社内教育研修・訓練や重大事故を風化させない取組の見直し	各教育における理解度確認方法を標準化し、新人運転士の独車試験や各研修に効果測定を2026年度上期から導入する。
③ 小集団教育の運営方法の見直し	応急措置により明らかになった改善点に基づき、小集団教育標準カリキュラム（年2回の実車教育を含む）・実施手順・評価方法の運用を定めて2026年上期から実施する。
④ 事故の再発防止取組の強化（実態把握・既存データ活用の推進）	事故・ヒヤリハット・各種運行データを統合管理するデータベースを2026年9月までに整備し、データを活用した事故対策の検討を行う。
⑤ 各組織間における適切な連携に基づく事故対策運営の推進	応急措置により明らかになった改善点に基づき、事故対策に有効な施策、運用であるかを見極め、2026年上期中に運用を開始する。

■安全統括管理者

取締役運輸本部長 兼 運輸部長 前田 欣郎

■一般貸切旅客自動車運送事業者が追加で公表すべき事項

運転者に係る情報		
正規雇用	正規雇用以外	平均勤続年数
21人	15人	15.6年

運行管理者・整備管理者に係る情報			
運行管理者	運行管理補助者	整備管理者	整備管理補助者
17人	18人	2人	40人

事業用自動車に係る情報（貸切車両）

	車両数	年式 (年)		平均車齢 (年)	ドライブ レコーダー 搭載車両数	デジタル式 運行記録計 搭載車両数	ASV ※車両数	主な運行の態様
		最古	最新					
大型	5	H18	H27	15.7	5	5	1	
中型	0	—	—	—	—	—	—	
小型	5	H18	R1	12.2	5	5	2	

※先進安全装置（ふらつき防止・衝突被害軽減ブレーキ等を備えたバス）



■初任運転士への安全運転実技指導

初任運転士に対し指導員1名が担当となり、5日間～10日間の習熟実技研修を行います。研修の中間で担当指導員以外の者が同乗し、運転操作等に対して指導を行い補正します。研修終了時に再度担当指導員以外の者による見極めを行い、合格に至るまで実技指導を継続します。この研修を修了すると営業所に配属となり、指導運転士によるマンツーマン教育がスタートし、運転実務やお客さまに対する心がけを身につけていきます。なお、初任運転者に対して行っている実技指導内容については以下のとおりです。

【時期】

入社後4日目より開始。

【実施ルート】

配属される営業所路線全般。

【車種区分】

大型車（自家用）※教習仕様。

習熟実技研修担当者（指導員4名）の指導日数

A教官	1 1 1 日間
B教官	1 1 5 日間
C教官	8 2 日間
D教官	1 3 日間



教習車(特別装備車両)



教官席(特別装備車両)



指導員による安全運転指導



高齢者疑似体験



死角にいる側方自転車に関する指導



エンジン火災時の消火訓練



デジタルタコグラフを使用したエコ運転の重要性と安全運転の指導



運転教習後にドライブレコーダー映像を活用して改善点を指導